

平成28年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 26	項目名	公共交通リノベーション計画策定費			主要な施策の 成果 ページ	17	担当 部署	都市計画部 交通政策課	
予算 科目	会計	1	一般会計		総合計画 体系	分野	道路・交通		
	款	2	総務費			基本方針	公共交通体系の充実		
	項	1	総務管理費			施策	公共交通の充実		
	目	8	交通対策費			当初予算における区分	新規施策・拡大施策・重点施策・その他		
事務事業	54	交通対策調整費		↑該当するものを○で囲んでください					

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は？実施に至った経緯は？) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が平成26年11月20日に改正されたことに伴い、従来の「地域公共交通総合連携計画」に替えて、新たに法定計画として公共交通リノベーション計画(地域公共交通網形成計画)を策定することが出来るようになったため。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか？) 市民(地域)、交通事業者、行政
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか？) 「コンパクトシティ+ネットワークのまちづくり」の考え方にに基づき、市民(地域)・事業者・行政の三者の協働、連携強化による地域の特性に応じた、また将来を見据えた持続可能な公共交通ネットワークを構築するために、地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通の充実を通して地域の活性化を図る。
事業の内容(取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか？) 地域および公共交通の現状把握、上位・関連計画の整理、市民アンケートによる交通意識調査、地域公共交通の課題整理等といった地域公共交通網形成計画策定に係る基礎調査を実施した。

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細		・草津市地域公共交通活性化再生協議会への計画策定支援費 12,636千円					・草津市地域公共交通活性化再生協議会への計画策定支援費 3,769千円				
事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	予算・決算額	12,636			12,636	3,769				3,769	
	前年度比	-				-					
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		委託業務内容の精査および入札により、当初予算額に対して減額となった。									
◆平成27年度事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	0				0	0				0	

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	4	市民ニーズが高い	通勤や通学、買い物等といった日常生活を行う上で、交通による移動は不可欠な行為であるため。
	4	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	3	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	4	法令により実施することが義務付けられている	国が推し進める「コンパクトシティ+ネットワーク」の考え方に結び付くため。
	4	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	3	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	3	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	4	市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	4	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	事業者の選定については、草津市地域公共交通活性化再生協議会において入札を実施した結果、執行見込額を下回ったため。
	3	コスト削減の余地はない	
	3	受益者一人当たりのコストは適正である	
	3	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	4	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	当該計画において基本的な方針や計画目標等を設定し、関係主体が具体的に取り組んでいくことで、まちの維持、活性化に繋がっていくため。
	4	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	4	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	3	当該年度の事業目的を達成できた	行政、交通事業者、学識経験者、警察、関係団体、交通利用者等で組織する地域公共交通活性化再生協議会において策定を進めているため。
	3	受益者の評価が得られている	
	3	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.およそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	<p>当該計画は、立地適正化計画や草津市版地域再生計画、また滋賀県や大津市で策定される大津湖南エリア地域公共交通網形成計画との整合性を図るために2か年の計画策定を進めており、平成28年度は地域および公共交通の現状と課題の整理、また市民アンケート調査等を実施したことで、基本方針や目標、施策等を設定するための基礎を築くことができた。</p>					
事業に対する市民の意見、反応	<p>近年、高齢ドライバーが加害者となる交通事故が増加し、運転に不安を感じる高齢者等の運転免許証の自主返納も増えてきていることから、代替移動手段となる公共交通ネットワークの充実が求められている。</p>					
事業の今後の課題、将来展望	<p>立地適正化計画や草津市版地域再生計画、また滋賀県や大津市で策定される大津湖南エリア地域公共交通網形成計画との整合性を図りながら、将来の都市機能や交通網、生活拠点などを整え、地域の活性化を図る。</p>					
※平成29年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		4,800				4,800
	28年度比積算根拠	38%				
		○委託料 4,800千円				

※ 当該事業が平成28年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。